

1. 基本情報										
事務事業コード	01020106	事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業			担当部	建設部			
						担当課	建設施設管理課			
政策名	01 快適で魅力あるまちづくり					グループ	道路維持第1グループ			
施策名	02 交通体系の充実					電話番号	45-5111			
基本事業名	01 道路ネットワークの構築及び道路施設の保全					内線番号	2761			
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H21 ~)				
	款	08 土木費				根拠法令・条例等	道路法 第42条第1項			
	項	02 道路橋梁費								
	目	01 道路橋梁維持費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)				関連計画	霧島市橋梁長寿命化修繕計画				
事務種別	施設・設備・道路整備事務		裁量区分	裁量性強		評価区分	簡易評価		評価対象	1次評価

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 高度経済成長期に架設された大量の橋梁が、一斉に老朽化し橋の寿命が近づきつつあることにより事業を開始した。
 長寿命化修繕計画に基づく計画的かつ予防的管理を行い、橋梁の長寿命化を図る。その結果、橋梁が一斉に劣化・損傷することが回避でき、安心安全な交通の確保と橋梁に係る長期的な費用の削減を図る。
 全橋の概略点検実施→詳細点検→長寿命化計画書作成→長寿命化計画に沿って事業(補修工事)申請→事業(補修工事)実施→完了

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 修繕工事完了の橋梁数	橋	0	1	3	8	10
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 市民							
イ 霧島市が管理する道路橋梁							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 安全に通行でき、良好な状態に保たれる。							
イ 計画的で予防的な管理を行うことにより、橋梁を長寿命化する							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 安全・快適に移動ができる							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)		4. 事業費の推移		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
平成19年第3回(9月)定例会市議会において市議より、橋梁の点検管理に係る一般質問が行われるなど、市民の関心が高まっている。 質問内容は、橋長15m以上の道路橋の数や耐用年数、点検・管理状況に関するものであった。		事業費	投入量	国庫支出金	千円		13,459	66,599	73,150	88,000
				県支出金	千円		0	0	0	0
				地方債	千円		0	0	0	0
				その他	千円		22,467	0	0	0
				一般財源	千円		14,995	54,492	59,850	72,000
				事業費	千円		0	50,921	121,091	133,000

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
橋梁補修工事と設計委託を実施した。 ①工事完了 郡田橋・木下橋・神橋 ②設計完了 手洗橋・今村橋・久保田橋・現王橋・高畑橋	橋梁長寿命化修繕計画に基づき設計委託と修繕工事を実施し、郡田橋・木下橋・神橋の長寿命化が図られ、安全に通行できるようになった。

1. 基本情報									
事務事業コード	01010606	事務事業名	公園改修事業			担当部	建設部		
						担当課	建設施設管理課		
政策名	01 快適で魅力あるまちづくり				グループ	公園管理G			
施策名	01 生活基盤の充実				電話番号	45-5111			
基本事業名	06 公園・広場等の整備				内線番号	2891			
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 18 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ ~ ）			
	款	08 土木費							
	項	05 都市計画費							
	目	04 公園費							
事務の区分	自治事務（法令で義務付けられていない事務）				関連計画	霧島市公園施設長寿命化計画			
事務種別	施設・設備・道路整備事務			裁量区分	裁量性強	評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細を記述）
 公園の老朽化してきた施設の改修や更新、又は新設により利用者の憩いの場所として、安全で快適な公園として環境を整えるものである。

① 活動指標（事務事業の活動量）		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア	改修等を調査・実施した施設数	施設	3	5	5	7	10
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア	公園利用者							
イ								
ウ								

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)		⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア	安心・安全・快適に利用できる							
イ								
ウ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)		⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア	憩いと交流の場が確保される							
イ								
ウ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

公園利用者アンケートにより、トイレの水洗浄、洋式への改修や遊具施設の更新、増設及びベンチ、駐車場の設置などの意見が寄せられている。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円		0	0	0	0
	県支出金	千円		0	0	0	0
	地方債	千円		0	0	0	0
	その他	千円		0	0	0	0
	一般財源	千円		0	13,809	6,400	15,000
事業費		千円	0	0	13,809	6,400	15,000

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>		(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
1. 城山公園ゆったりトイレトイレブース修繕	635,250円	老朽化した施設の改修、施設の耐震調査、施設改修のための調査設計及び新たな施設として防球ネットを設置するなど、利用しやすく安心・安全な公園を整備でき、市民の憩いの場としての機能が向上した。
2. 城山研修センター耐震診断業務委託	1,680,000円	
3. 姫城中央公園駐車場整備設計委託	682,500円	
4. 丸岡公園便所改築工事実施設計業務委託	498,750円	
5. 丸岡公園便所改築地質調査業務委託	118,000円	
6. 川尻公園防球ネット設置工事 他	4,290,000円	

事務事業コード	01010606	事務事業名	公園改修事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
C 効率性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
D 公平性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる		
	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	補助対象外の事業であり、各公園の老朽化が進む中、改修すべき公園施設も多く、利用者の安全な公園利用を図るためには、削減余地はない。	
E 効果性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	高度な測量設計は業務委託を行い、業務遂行を正規職員で行っているため削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
F 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	「霧島市公園施設長寿命化計画」が整備されたことにより長寿命化対策事業と並行して、効果的に施設の拡充・改修等や撤去などを行う。								
(3) 平成27年度の方 向性・取組目標	公園施設の老朽化や機能充実のため改修・更新・新設が必要なことから「霧島市公園施設長寿命化計画」を基に補助対象施設は交付金等で対応していくが、補助対象外施設については緊急・必要性を考慮しながら進め、憩いの場所として利用しやすい安心・安全・快適な公園とする。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									

1. 基本情報											
事務事業コード	01020107	事務事業名	道路アダプト制度事業				担当部	建設部			
						担当課	建設施設管理課				
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり				グループ	道路維持第1グループ				
施策名	02	交通体系の充実				電話番号	45-5111				
基本事業名	01	道路ネットワークの構築及び道路施設の保全				内線番号	2761				
予算科目	会計	一般会計				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 24 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)				
	款	08 土木費					根拠法令・条例等	特になし			
	項	02 道路橋梁費									
	目	01 道路橋梁維持費									
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)					関連計画					
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強		評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

道路アダプト制度実施要綱により、市民団体・事業者団体などを募集し、応募した団体が霧島市内の市道及び国道道の主要幹線道路で延長400m以上の道路敷地を、(1)年2回以上の道路の草払い(2)道路の清掃(ポイ捨てゴミ等の収集・処分)(3)道路の破損等の情報提供の活動を行う。事業費については、道路保全(草払い)区間に応じて、1団体につき30,000円～50,000円を限度に活動支援金を交付する。また、アダプトの道路区域には、アダプトサイン(看板)を設置する。これにより道路の環境及び機能の維持向上を図る。

※道路アダプト制度
 目的:道路の環境保全及びその機能の向上を図るため、美化活動を行う市民活動団体等と市が共に協力し、支え合う共生・協働による快適で美しいまちづくりを推進する。
 対象となる団体:市内の企業等の法人又は5人以上で構成する地区自治公民館、自治会、老人クラブ、PTAその他活動の継続性が保たれる市民活動団体。
 対象となる道路:市道は、市が定めた道路(主要幹線道路)、国道・県道は市と協議がなされた道路で実施。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 道路アダプト制度の実施により、参加団体を募って、道路の草払い、清掃等を実施する	団体	***	25	46	62	78
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 市民団体及び事業者団体	市民団体及び事業者団体数	団体	***	100	100	100	100
イ 霧島市内の市道・国道道の主要幹線道路	指定道路及び指定区間延長	Km		90	90	90	90
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア アダプト制度登録団体数を増やす	この事業により道路環境保全に取り組む市民団体・事業者団体数(累積)	団体	***	25	46	62	78
イ 草払い・清掃活動等が行われる	アダプトによる道路の草払い延長(累積)	Km	***	27	52	75	98
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 安全・快適に移動ができる	道路に関する苦情件数	件	1,289	1,389	1,477	1,290	1,290
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

道路の環境及びその機能を維持するため、市民の要望などに基づき草払いを実施しているが、その草払いが、地区市民の高齢化などにより実施できない路線が増えている状況である。この状況を少しでも緩和するために、道路アダプト制度を平成24年度から始めている。 また、市民からの問い合わせや意見として、アダプト制度を霧島市が指定した路線以外でもできるようにしてほしいとの意見もあるので、路線の見直しを実施し、アダプト対応路線を増やしていきたい。	4. 事業費の推移		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)		
	投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0	0
				県支出金	千円		0	0	0	0
				地方債	千円		0	0	0	0
				その他	千円		0	0	0	0
				一般財源	千円		1,191	2,060	2,758	3,430
				事業費	千円		0	1,191	2,060	2,758

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

平成25年度で新規登録団体として21団体を追加登録し、団体による草払い・清掃等実施延長を25km追加することができた。	道路アダプト制度の新規登録団体が21団体増えたことにより、草払い路線が増えて、道路環境及び道路機能の維持がなされ、安全快適に移動ができる路線が増えた。
---	---

1. 基本情報									
事務事業コード	01020103	事務事業名	地方改善施設整備事業			担当部	建設部		
政策名	01 快適で魅力あるまちづくり				担当課	建設施設管理課			
施策名	02 交通体系の充実				グループ	道路維持グループ			
基本事業名	01 道路ネットワークの構築及び道路施設の保全				電話番号	45-5111			
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ ~ ）			
	款	08 土木費							
	項	02 道路橋梁費							
目	01 道路橋梁維持費			根拠法令・条例等	道路法・道路法施行規則				
事務の区分	自治事務（法令で義務付けられていない事務）				関連計画				
事務種別	施設・設備・道路整備事務			裁量区分	裁量性強	評価区分	簡易評価	評価対象	1次評価

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細を記述）

霧島市の市道・生活道路の狭小道路及び排水路等における、市民からの改修要望に対して、改善のための工事を行う事業。（交付金）
 主な業務内容は次のとおり。
 ①自治会や市民からの、まちづくり計画による狭小道路等の改修・改善要望の対応。
 ②要望箇所を確認し、優先順位をつけて事業路線を選定する。
 ③改修工事の設計委託、工事の発注。
 ④完成検査の実施
 ⑤工事個所の引受

① 活動指標（事務事業の活動量）		単位	23年度 （実績）	24年度 （実績）	25年度 （実績）	26年度 （見込）	27年度 （見込）
ア	道路補修工事、側溝整備工事等の箇所数	路線	1	1	2	1	1
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 （誰、何を対象にしているのか）		③ 対象指標 （左記②対象の大きさを表す指標）	単位	23年度 （実績）	24年度 （実績）	25年度 （実績）	26年度 （見込）	27年度 （見込）
ア	市民							
イ	市道							
ウ								

④ 意図 （②対象をどうしたいのか）		⑤ 成果指標 （左記④意図の達成度を表す指標）	単位	23年度 （実績）	24年度 （実績）	25年度 （実績）	26年度 （目標）	27年度 （目標）
ア	安全に通行でき、良好な状態に保たれる。							
イ	狭小道路が改修され移動がしやすくなる。							
ウ								

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 （さらにどのような成果に結びつのか）		⑦ 基本事業の成果指標 （左記⑥意図の達成度を表す指標）	単位	23年度 （実績）	24年度 （実績）	25年度 （実績）	26年度 （目標）	27年度 （目標）
ア	安全・快適に移動ができる							
イ								
ウ								

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 （法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等）
 地区自治公民館から、まちづくり計画書による要望がある。救急車両の通れない狭小道路の改善について議会で質問がでている。

4. 事業費の推移		単位	23年度 （決算）	24年度 （決算）	25年度 （決算）	26年度 （計画）	27年度 （計画）
事業費 投入量	国庫支出金	千円		9,524	15,855	13,775	13,775
	県支出金	千円		0	0	0	0
	地方債	千円		0	0	0	0
	その他	千円		0	0	0	0
	一般財源	千円		9,524	15,856	13,776	13,775
事業費		千円	0	19,048	31,711	27,551	27,550

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> **(2) 平成25年度の成果** <左記の実績(取組)による成果を記載>

(平成24年度繰越) 市道高日山線改修工事 (平成25年度) 唐仁町～有下線設計委託・改修工事(一部実施)	平成24年度からの繰越で、市道高日山線の事業内容を一部変更し、道路改修工事を行ったことから、狭小道路が解消され、安全・安心に通行できるようになった。 平成25年度設計委託・工事で唐仁町～有下線の道路改修工事の一部実施した。
--	--

事務事業 コード	01020103	事務 事業名	地方改善施設整備事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的 妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
B 有効性	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある		
B 有効性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
C 効率性	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はない		
	<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない		
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	住民の改良等の要望も多いため、削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	高度な測量設計は業務委託を行い、事業遂行を正規職員で行っているため削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	現在取り掛かっている唐仁町～有下線(L=80m)を継続して実施する。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	平成26年度で唐人町～有下線は完了予定であり、新規施工箇所にあつては、緊急性で優先順位を決定し、地元やまちづくり計画等での要望に応え、狭小道路等の解消を図る。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									

1. 基本情報										
事務事業コード	01020105	事務事業名	道路維持管理事業			担当部	建設部			
						担当課	建設施設管理課			
政策名	01	快適で魅力あるまちづくり				グループ	道路維持グループ			
施策名	02	交通体系の充実				電話番号	45-5111			
基本事業名	01	道路ネットワークの構築及び道路施設の保全				内線番号	2761			
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 18 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)				
	款	08 土木費				根拠法令・条例等	道路法(第16条)			
	項	02 道路橋梁費								
	目	01 道路橋梁維持費								
事務の区分	自治事務(法令で義務付けられていない事務)				関連計画					
事務種別	一般事務		裁量区分	裁量性 強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島市全域の市道の維持管理のため、清掃や修繕・改修を行う事業。主な業務内容は次のとおり。
 ①市道の陥没や側溝閉塞(落ち葉などで水路が詰まること)、雑草等により見通しの悪い箇所などを通常巡回や、利用者からの通報により把握
 ②現場状況確認
 ③実施要否判断
 ④関係機関と協議
 ⑤修繕や改修工事・委託の発注
 ⑥工事委託終了後の検査
 ※日常的に住民が使用する生活道路については、清掃等を周辺地域の自治会に協働で行ってもらっている。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 道路補修・側溝修繕箇所数	箇所	486	607	496	600	700
イ 藪払い延長	Km	770	771	754	770	790
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 市道利用者及び周辺住民	人口	人	127,365	127,475	127,283	128,861	129,360
イ 霧島市内の市道	市内の市道延長	Km	1,580	1,606	1,606	1,606	1,606
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 安全に通行でき、良好な状態に保たれる	対応率(修繕対象箇所数/改修が必要と判断された箇所数)	%	78	82	91	92	93
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 安全・快適に移動ができる	道路に関する苦情件数	件	1,289	1,389	1,477	1,290	1,290
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
 昭和27年の道路法の改定により、市道の整備並びに維持管理が市町村の義務となった。
 市道の老朽化と交通量の増加による舗装の劣化や、側溝等の不具合が多く発生している。また、高齢化社会により、地域住民で行っていただいていた藪払いができない地域が増えており、それに伴い市で対応してほしいとの要望も年々増加してきている。市道の維持修繕は道路利用者だけでなく、地域住民にも多大な影響があるために、早急な対応が求められている。
 (住民からの苦情や要望の内容としては、「藪払い」「側溝改修」「道路舗装の補修」が多い。
 平成21年9月議会で、「中山間地域では高齢化が進み自治会で藪払いなどの管理が困難になっているが、今後どのように考えるか」の質問がなされた。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円		0	0	0	
		県支出金	千円		0	0	0	
		地方債	千円		0	0	0	
		その他	千円		0	0	0	
		一般財源	千円		236,237	248,605	258,315	306,360
		事業費	千円	0	236,237	248,605	258,315	306,360

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

・道路補修・側溝修繕を496件実施した。(国分地区が207件、隼人地区が114件、溝辺地区が40件、横川地区が34件、牧園地区が47件、霧島地区が19件、福山地区が35件)
 ・道路維持管理・草払い・高所木伐採を58件実施した。(国分地区が25件、隼人地区が9件、溝辺地区が2件、横川地区が9件、牧園地区が5件、霧島地区が4件、福山地区が4件)
 ・草払いを業務委託で754km実施した。
 ・月曜日にパトロールを実施し、道路の不具合箇所を発見してもらっている。

(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>

市道等における市民からの要望・苦情に対して、道路補修・側溝修繕、草払い等を実施し、要望・苦情を解消し、市民の安全な通行を図ることできた。

事務事業 コード	01020105	事務 事業名	道路維持管理事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	市道利用者及び周辺住民が安全に通行できることや、霧島市内の市道が良好な状態に保たれることは、安全・快適に移動ができることに結びついている。	
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道の維持管理は道路法に基づき管理者である市の責務であり、市道の安全を確保するという点から妥当である。	
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	道路の劣化により年々修繕の箇所が増え、高齢化により市道の草払いの要望も増えている。また、修繕料や草払い委託料の経費の確保も難しく、現状としては、修繕による改善や草払いの作業延長を伸ばすことは難しい状況である。	
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	市民の最も身近な生活道路である市道の維持管理を廃止・休止することは、円滑な車輛通行の妨げとなり、事故の誘発を招く。	
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等	道路アダプト制度事業
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	市道の劣化が進む中、道路の補修や、地域の高齢化による草払いの要望が年々増加している。このような状況では、事業費の削減余地はない。	
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	現在は、草払いや修繕については、委託や請負により、市道の維持管理を継続的に行っている。職員は、住民からの苦情・要望処理や現場での状況判断、また、専門的知識を要する工法検討など対応する業務が多く、人件費を削減する余地はない。	
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	住民からの苦情・要望は地域によって偏りはあるが、市が行うパトロールなども含めて要否を判断しているため、公平性は保たれている。道路管理は、受益者負担を求める事業には該当しない。	

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性<							>
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止	
	○	○			○				
(2) 平成26年度の改革改善の内容	道路の舗装修繕や側溝清掃、市道脇の草刈りなど、市民の要望に対応するため、職員、作業員で対応できることはすぐに実施する。業者に依頼する修繕や草払い等も対応を早く実施し、市道の交通の安全を図る。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	職員による市道のパトロールを実施し、舗装の危険箇所の早期発見及び修繕に努める。								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)								
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評								

1. 基本情報										
事務事業コード	01020104	事務事業名	道路維持改良事業			担当部	建設部			
						担当課	建設施設管理課			
政策名	01 快適で魅力あるまちづくり					グループ	道路維持グループ			
施策名	02 交通体系の充実					電話番号	45-5111			
基本事業名	01 道路ネットワークの構築及び道路施設の保全					内線番号	2761			
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)				
	款	08 土木費				根拠法令・条例等	道路法・道路法施行規則			
	項	02 道路橋梁費								
目	01 道路橋梁維持費									
事務の区分	自治事務 (法令で義務付けられていない事務)				関連計画					
事務種別	施設・設備・道路整備事務		裁量区分	裁量性強		評価区分	簡易評価		評価対象	1次評価

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 霧島市全域の市道の維持補修のため、補修工事を行う事業。
 主な業務内容は次のとおり。
 ①自治会や市民からの、市道の不具合箇所の改修・改善要望の対応。
 ②まちづくり計画等における、市道の不具合箇所の改修・改善要望の対応。
 ③要望箇所の確認。
 ④改修工事の設計委託、工事の発注。
 ⑤完成検査の実施
 ⑥工事箇所の引受

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア	道路補修工事、側溝整備工事等の箇所数	路線	26	16	24	7	10
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 市民							
イ 市道							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 安全に通行でき、良好な状態に保たれる							
イ 狭小道路の改修や、破損の激しい舗装や側溝などの補修を行う。							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 安全・快適に移動ができる							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)
 自治会や市民から狭小道路の改修、舗装の補修、側溝等の改修などの要望がある。

4. 事業費の推移

		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
事業費	財源内訳	千円		169,851	156,351	0	0
	国庫支出金	千円		0	13,500	13,500	13,500
	県支出金	千円		0	0	0	0
	地方債	千円		15,241	0	0	0
	その他	千円		220,793	217,594	43,800	55,260
事業費		千円	0	405,885	387,445	57,300	68,760

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成25年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
市道の舗装改修工事、側溝整備工事、視距改良工事などを実施した。 ①H24繰越工事(単独) 1路線 舗装工事・側溝工事・視距改良工事 ②H25工事(単独) 14路線 水路工事・舗装工事 ③H25工事(補正) 1路線 舗装工事 ④H24繰越工事(交付金) 8路線 舗装工事 ⑤H24繰越委託(交付金) トンネル点検5箇所 道路付属物点検220箇所	市道の舗装や側溝等の改修を実施し、市民の安全な通行を図れた。また、国の繰越補正予算により、トンネルと道路付属物の点検を実施し、安全を確認できた。

事務事業コード	01020104	事務事業名	道路維持改良事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている		
	<input type="checkbox"/> 間接的に結びついている		
	<input type="checkbox"/> 結びついていない		
B 有効性	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である		
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある			
<input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある			
<input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない			
C 効率性	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある		
	<input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。)	類似事業がある場合の事務事業名等	
<input type="checkbox"/> 類似の事業はない			
<input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない			
<input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる			
D 公平性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	住民からの市道の改修の要望も多いため、削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない		
	<input type="checkbox"/> 削減できる		
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？	高度な測量設計は業務委託を行い、事業遂行を正規職員で行っているため削減余地はない。	
<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない			
<input type="checkbox"/> 削減できる			
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である		
<input type="checkbox"/> 見直す必要がある			

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	道路の維持管理において現場は多種多様であり、現場に応じた維持管理を行っているため、一概にコストだけを意識して実施はできないが、設計の段階でできる限り安価なものを選定している。							
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	道路の維持修繕を迅速に対応し、交通の安全を図る。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(1) 事務事業の改革改善方向性									
(2) 総評									

1. 基本情報									
事務事業コード	01020104	事務事業名	市道・橋梁台帳整備事業			担当部	建設部		
政策名	01 快適で魅力あるまちづくり				担当課	建設施設管理課			
施策名	02 交通体系の充実				グループ	道路管理グループ			
基本事業名	01 道路ネットワークの構築及び道路施設の保全				電話番号	45-5111			
予算科目目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H 17 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)			
	款	08 土木費							
	項	01 土木管理費							
	目	01 土木総務費							
事務の区分	自治事務 (法令で義務付けられていない事務)				関連計画	根拠法令・条例等 道路法、道路法施行規則			
事務種別	一般事務			裁量区分	裁量性強	評価区分	標準評価	評価対象	1次評価

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 市道の管理を行うために、市が管理する道路 (市道) や橋梁の台帳 (図面) を整備する。手順としては、市道や橋梁の認定・廃止・変更を行い、その後、台帳の補正を行う。台帳を整備することにより、市有地と民地の境界が明確になり、市道の全体像を把握し、機能確保を図る。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 認定・変更・廃止路線数	本	2,432	39	25	30	30
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (見込)
ア 市道 (認定・認定外)	市道延長	Km	1,630	1,630	1,630	1,632	1,634
イ 橋梁	橋梁数	橋	652	652	654	654	654
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 市道・橋梁の情報が管理できる	霧島市道路台帳再編計画達成度	%	100	100	100	100	100
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (目標)	27年度 (目標)
ア 安全・快適に移動ができる	改良率	%	56.3	調査中	調査中	57.0	58.0
イ 安全・快適に移動ができる	渋滞箇所数	箇所	9	9	9	8	8
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)		4. 事業費の推移		単位	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
市町合併により霧島市としての台帳整備が必要になり、平成17年度より開始しており、平成23年度において霧島市道の一括廃止、一括認定を完了している。 また、平成24年度より道路地図情報システムを導入したことにより、市道情報の共有化ができた。 市民・議会等からの意見・要望は無い。		事業費	投入量	国庫支出金	千円		0	0	0
				県支出金	千円		0	0	0
				地方債	千円		0	0	0
				その他	千円		0	0	0
				一般財源	千円		13,115	11,508	15,324
				事業費	千円	0	13,115	11,508	15,324

5. 平成25年度の実績及び成果

(1) 平成25年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成25年度の成果 <左記の実績 (取組) による成果を記載>
道路台帳補正 4.064km (25路線) 橋梁台帳反映 150橋 (溝辺・横川・福山地区)	霧島市の道路台帳の整合性を保つため、前年度に道路改良等工事が完成し変更の生じた道路について道路台帳補正をかけた。また、橋梁台帳を作成するため、溝辺・横川・福山地区の橋梁台帳を整備し、数値等を道路台帳・台帳図に反映した。 また、路線の区域変更及び供用開始を告示した。 (新規路線の議会承認は無し) 道路台帳・橋梁台帳整備により市道の整備・維持の業務の効率化と市道に係る許認可申請に対する利便性・迅速性が向上した。また、交付税の基礎となる道路数値の整備が整った。

事務事業コード	01020104	事務事業名	市道・橋梁台帳整備事業	担当部	建設部
				担当課	建設施設管理課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	台帳を整備することにより、市有地と民地の境界が明確になり、市道の全体像を把握し、機能確保を図れることから、しいては、安全で快適な移動ができることになる。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道という「市の財産」の全体像を管理することは、道路管理者の責務である。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	台帳再編については順調に進んでおり、平成22年度には100%整備できたため、今後は毎年度の道路改良等を行った路線の道路台帳補正作業を継続して行う。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	新規・改良路線の詳細が把握できず、財産の管理・機能確保ができなくなる上に、地方交付税の算定基礎数値の変更ができない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等
C 効率性	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	道路法により道路台帳及び台帳図を作成することが義務付けられているため、市道の道路整備完了に伴い補正しなければならないことや工法等を変更できないことにより削減の余地はない。
	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	台帳の基礎部分は、市職員が作成しているが、必要最小限の事務であり、削減の余地はない。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道の機能確保のための基礎資料の台帳を整備することなので、偏りはなく、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>							
(1) 事務事業の改革改善の方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
		○							
(2) 平成26年度の改革改善の内容	市道の整備・改良等を完了した道路等を調査測量し台帳に反映させることにより、市有財産の管理用資料及び交付税等の資料として利用できるため、継続して事業を行う。								
(3) 平成27年度の方向性・取組目標	道路改良等に伴い完成した道路等の道路台帳・台帳図への反映								

8. 2次評価結果 (担当部長評価)									
(1) 事務事業の改革改善方向性		継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
(2) 総評									

